

2点のエンドポジションを確実に検出

TスロットCスロットIO-Linkシリンダセンサ



- 1つのセンサでショートストロークシリンダの2つのエンドポジションを検出
- 2つのLEDによりエンドポジションを簡単に設定
- 50 mmの検出範囲内でシリンダのストローク監視
- スイッチングサイクルカウンタにより空気圧シリンダの動作を監視
- 診断機能により不具合発生源を迅速に特定

IP67

IO-Link

ifm – close to you!

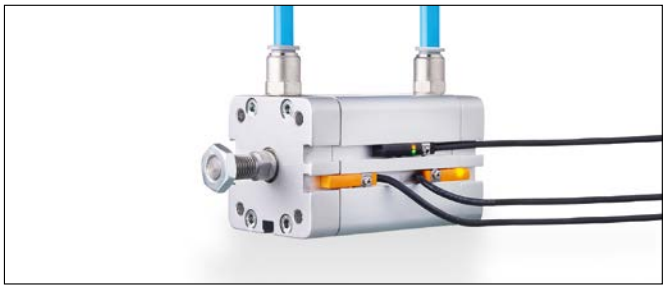
出力 接点出力/IO-Link	接続タイプ	コネクタタイプ	接点数	Tスロット 製品コード	Cスロット 製品コード
1 / 2	2 mケーブル	–	3	–	**MK5800**
2 / 2	2 mケーブル	–	4	**MK5904**	–
1 / 2	0.3 mコネクタ付ケーブル	M8（固定式）	3	**MK5905**	**MK5801**
1 / 2	0.3 mコネクタ付ケーブル	M8（回転式ロックリング）	3	**MK5906**	**MK5802**
2 / 2	0.3 mコネクタ付ケーブル	M8（回転式ロックリング）	4	**MK5907**	–
2 / 2	0.3 mコネクタ付ケーブル	M12（回転式ロックリング）	4	**MK5908**	–
1 / 2	0.3 mコネクタ付ケーブル	M12（回転式ロックリング）	3	–	**MK5803**
1 / 2	6 mケーブル	–	3	–	**MK5804**
2 / 2	6 mケーブル	–	4	**MK5909**	–

多彩なシリンダ監視機能

IO-Link対応センサは、2種類の出力信号を備え、機械の機能及び稼働率向上を実現します。出力信号は、アプリケーションに合わせて設定可能です。検出距離50 mmの高分解能プロセスデータでリニアな監視とIO-Linkによるセンサからの情報のデジタル伝送が可能です。センサの設定・変更は、設定ソフトウェアによるティーチ機能とBluetoothアダプタ（別売）を使って離れた場所からも簡単に実行できます。

様々な診断が可能

ストロークの回数（スイッチングサイクルカウンタ）・ストローク時間・デバイス温度等、安定動作を監視する様々な機能を内蔵し、メンテナンスを速やかに実施できます。



センサ2台分の機能: 1個のIO-Linkシリンダセンサだけで、従来は2個使用していたショートストローク 2点のエンドポジションを検出できます。

共通技術データ		
機能原理		ホール素子
電気仕様		PNP/NPN（切替可能）
出力機能		NO/NC （切替可能）
出力機能		スイッチポイント/カウンタ/ 診断（選択可能）
応答周波数	[Hz]	200
検出距離	[mm]	約50 (使用シリンダによる)
リニアリティ	[%]	< 5
分解能	[mm]	約0.01 (使用シリンダによる)
繰返し精度	[mm]	< 0.2
保護構造		IP67

BEST FRIENDS



moneo|configure free
IO-Linkデバイスのパラメータ設定ソフトウエア



moneo|blue
IO-Linkデバイスをスマートフォンアプリで簡単設定・管理



IO-Linkインターフェース
PCからIO-Linkデバイスのパラメータを設定

詳細情報はこちら:
ifm.com/fs/MK5800

製品改良のため、記載事項を予告なしに変更する場合があります。· 11.2024
ifm electronic gmbh · Friedrichstr. 1 · 45128 Essen